

会議録

会議の名称	西東京市文化財保護審議会 令和元年度第3回会議
開催日時	令和元年11月26日（火）午前10時から12時
開催場所	保谷庁舎3階 第2会議室
出席者	委員：鈴木委員、石井委員、多々良委員、近辻委員、都築委員、長崎委員、廣瀬委員 事務局：掛谷課長、田中係長、亀田主事、齊藤主事
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 協議事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 天神社総合調査について 3 報告事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 下野谷遺跡の保存・活用について (2) 文化財事業実施報告 <ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財 ・その他の文化財事業等 4 その他 5 閉会
会議資料の名称	資料1 天神社総合調査について 資料2 下野谷遺跡の保存・活用について 資料3 埋蔵文化財調査一覧 資料4 文化財事業一覧
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>1. 開会 ○鈴木会長：ただいまより令和元年度第3回定例会を始める。 ○事務局：配布資料・出欠の確認。前回会議録について訂正等ある場合は12月6日までに連絡願いたい。</p> <p>2 協議事項 (1) 天神社総合調査について ○鈴木会長：事務局から説明をお願いします。</p>	

- 事務局：（資料1に沿って説明）
来月に調査委員会を開催し、必要があれば調査を年明けに行う。来年度の第1回文審で草稿をつくり、夏から秋を刊行目標として進めていく。
天神社の例大祭の時期に額を外したが、今まで額で覆われていたことにより風雨等から守られていた部分の保護方法について意見をいただきたい。
報告書（案）、ストーリー（案）について、足りない内容や記述方法についてご意見をいただきたい。
下保谷村の字と人名の報告書への記載箇所についてご意見いただきたい。
- 鈴木会長：何か質問、意見はあるか。
- 都築委員：題目塔について、どこまでを今回の調査対象とするのか。南入経塚のほかにも、富士街道にある高塚、土支田にも日蓮宗の題目塔がある。
また、練馬区の妙福寺とは非常につながりが深い。妙福寺には板碑が多く残っているが、由来がはっきりしていないものもあるので、どこまでの板碑を対象とするのか検討が必要である。
- 事務局：全てをまとめるとなると、広範囲になってしまう。下保谷村は小樽村が母村であり、ほとんどが妙福寺の檀家である。妙福寺との関係は深いが、あまりこのあたりに重点を入れると天神社が薄れてしまうので、小樽村との関係や、あるいは宗教が改宗した話の中で今わかっているもの程度で収める。妙福寺の板碑の調査まではできないが、妙福寺との関係性や妙福寺にある三十番神の祠の写真は入れるべきだと考えている。
- 近辻委員：報告書は今年度の刊行だと思っていたが、来年度となるのか。
- 事務局：当初の予定通り、3月までにまとめたものを来年度に印刷し、刊行する予定としている。
- 多々良委員：この天神社総合調査をするきっかけは何であったか。学術的なものとしすぎるのではなく、市民に読んでもらえるようにした方がよい。
- 事務局：西東京市文化財保存・活用計画に基づき、文化財とその周辺環境を総合的に把握し調査研究を進める取組みを進めるにあたり、様々な要素を持つ天神社を題材としたものである。学術的に価値をさらに深めるとともに、その価値をわかりやすく説明し、市民の皆さんに知っていただくことにより、文化財保護の機運醸成にもつなげていきたい。
- 鈴木会長：今後の活用への大きな一歩となるようにしたい。
- 近辻委員：附編にある「下保谷村の字と人名」の章をどこに入れるか。
- 事務局：「蓮見家文書目録」の前に入れるか、各論の中に入れるのか調整になる。各論のとりまとめの中でご相談させていただく。
- 鈴木会長：「歴史的建造物」の章において、神仏分離以前の本殿は今の拝殿であるとしている。今の本殿は菅原道真が祭神になっているが、当時の本殿はどうだったかを考えると、三十番神が収まる場所であり、神仏分離になったときに菅原道真が収まっていたところを本殿にし、三十番神が収まっていたところを拝殿として活用したと推測できる。
- 事務局：天保5年には今の拝殿があることがわかっている。この拝殿には三十番神があり、弘化2年の段階で天満宮を建て、菅原道真の石造（現在の御神体）をいれている、という考えだと思うが、このときには天満宮の本社というのが今の本殿になるのか。
- 鈴木会長：今の本殿ではなく、当時は鎮守本社であろう。弘化2年に天満宮を作っ

て、社殿ができたので、そちらへ移したのではないか。

- 事務局：そうすると、現在の天神社の本殿は、江戸の弘化あたりの建築様式の建造物なのか。
- 鈴木会長：そう考えて問題ない。
鍔絵がいつ制作されたか、それが問題だった。今回調査したが、銘がないためわからなかった。幕末に江戸東京だけでなく、多摩武蔵あたりでも鍔絵ができる職人がいた。そのことを考えると、幕末から明治前半だろうと推測する。
- 近辻委員：額は外したが、また元の位置に戻すのか。
- 事務局：鍔絵を見せるために、当面は元に戻さず中に置くだらう。
鍔絵は塗りなおしの痕跡が見られる。もし文書に修復のことが書いてある場合、いつの修復なのかに気を付ける。
- 事務局：これまでも龍のある前面以外は露出していたところであるが、今後、どのように保護していくのが望ましいのか。
- 鈴木会長：公開と保護、両面というのはなかなか難しい。
高いところにあるのでいたずらの心配は少ない。西東京市にとって非常に重要な文化財となる。
- 鈴木会長：講についてはどう扱うか。
- 事務局：調査協力員が詳細に調べており、額にある伊勢講、御嶽講、題目講があった。伊勢講に関しては、文書にも出てくるし、弘化4年の古い額にも伊勢講の太神楽を奉納しているものがあるので、写真と合わせて書かないといけない。御嶽講はこの地域で、今でも続けている。題目講に関しては、高橋文太郎の武蔵保谷村郷土資料にも延宝4年に三十番神のオビシヤをやっているとあった。そのあたりも含めて紹介した方がよいと思う。
- 鈴木会長：題目講は現存しているのか。
- 都築委員：地元では題目講と言われているものが、今も続いている。
もうひとつ、ここで抜けているのがお墓とのつながりである。お盆の時期に、竹林公園の裏の畑の中にあるお墓に講に使うものを収める。毎年順番で交代して行っており、お墓に収められないものは、順番となる家に収めることとなっている。
- 鈴木会長：その辺りの記述があってもよい。
- 事務局：今に続いていることは書いておきたい。調査協力員も調べているが、都築委員にもご協力をお願いしたい。

3 報告事項

(1) 下野谷遺跡の保存・活用について

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。
- 事務局：(資料2に沿って説明)
下野谷遺跡用地擁壁築造工事について、11月から工事に入っている。
下野谷遺跡にかかる国史跡追加指定の答申が4件あった。
活用事業を3件実施した。

(2) 文化財事業実施報告

- 鈴木会長：事務局から説明をお願いします。

○事務局：（資料3・4に沿って説明）

・埋蔵文化財

下野谷遺跡では本調査を3回実施した。4番の調査では縄文住居跡が2軒のみであった。坂下遺跡で立会調査を3回、下柳沢遺跡で立会調査を1回実施した。

・その他の文化財事業等

文化財保存事業2件、文化財普及事業8件、学校支援事業3件、その他6件を実施した。郷土資料室の来室者数について、平成29年度から30年度が大幅に減少したため、今年度は企画展示の実施、積極的なPRを行っている。現時点では、昨年度に比べて来室者数が増加している。

○鈴木会長：何か質問、意見はあるか。

○近辻委員：田無小学校から出土した銃器について新聞でも取り上げられ、全国的に知られるようになった。訓練用らしいが、経緯等は分かっていない。郷土資料室担当者に小平市の住民から情報提供があったと聞いたが、こちらから情報を発信することによって、他の地域からも情報を得ることができるのではないか。

○廣瀬委員：文化芸術推進振興委員会の委員に学校の先生がいるが、郷土資料室のポスター等を見ていないと言っていた。チラシ等配っているはずなのに人が来ないということは、配り方にも問題があるのではないか。広報の仕方に工夫が必要である。

○多々良委員：来室者数が増加した理由を分析し、良かったところを膨らましていくことが大事である。

○廣瀬委員：増加した理由をどのように考えているのか。

○事務局：今回の展示については、テレビや新聞で大きく取り上げられたことが大きい。問い合わせや展示してほしいという声が多かった。また、身近な小学校から出土した文化財ということで、地域の歴史を考えるきっかけとして来室された方が多いと考えている。

○廣瀬委員：来年以降はどうするのか。

○事務局：身近な題材を取り扱うということでは、来年度には西東京市が20周年となるので、関連した特別展などを実施したいと考えている。

○廣瀬委員：社会科見学で来てくれるとよい。

○多々良委員：小学校に現場をみてもらうとしたら、移動手段を確保する必要がある。近隣であれば問題ないが、移動手段の検討を教育委員会の中でしておかないといけないかと思う。

○事務局：社会科見学では、バスでの移動・駐車場の確保、昼食場所の確保などの制約があり、なかなか全校での実施は難しい状況である。校長会等において、多摩六都科学館であればバスを停めることができるので、多摩六都科学館見学と合わせて紹介している。

4. その他

○鈴木会長：全体を通して何かあるか。

○事務局：西東京市文化財保存・活用計画の取組状況に対する西東京市文化財保護審議会意見概要について、令和2年度予算編成前の10月に関係各課へ情報共有を行った。

なお、今後、令和2年度の予算編成に向けた作業に入ることとなるが、財政状況の改善に向けた取組みが課題となっている。

- 都築委員：下野谷遺跡の未報告分の報告書はどうなっているのか。
- 事務局：今年度と来年度に合わせて実施する。
- 鈴木会長：下野谷遺跡のエントランスはどのようなものとなるのか。
- 事務局：測量などの調査結果から、全体の地形などについて検討している。今後、報告していく予定である。
- 近辻委員：漆原委員からの依頼で、西東京市の古文書研究会の記事を書いた。12月刊行予定である。
- 鈴木会長：他に何かあったらお願いします。
- 事務局：次回の会議は2月ごろを予定している。改めて日程を調整する。

5. 閉会

- 鈴木会長：以上をもって、令和元年度第3回会議を閉会する。